

黒崎南ふれあい協議会ニュース

第3号

ふれあいかわら版

救急蘇生法とAEDの活用法を学ぶ!!

去る7月17日(木)午後7時から、黒崎南小学校体育館において、救急蘇生法とAED(自動体外式除細動器)の活用法を学びました。夏場を迎え、屋外での活動が多くなるにつれ、災害や事故、特に夏場の水の事故など、子どもに限らず地域での緊急時に応急手当が必要になることも予想されるということで、黒崎南ふれあい協議会の健康福祉部会と黒崎南小学校PTAの呼び掛けで実現いたしました。

当日は、約70余人が参加いたしました。また、講師には新潟市西消防署黒崎出張所の渡部小隊長以下4人の隊員での指導をご依頼いたしました。

ここに、講演や演習の大まかな内容をご紹介します。

■ 応急手当とは？

応急手当とは、突然のけがや病気におそわれたときに、病院に行くまでの間に、家庭や職場でできる手当のことを指します。突然のけがや病気には「脳卒中」「心筋梗塞、不整脈」「窒息、溺水」「大量出血」などが考えられ、その中でも生命にかかわる重篤なものには一次救命措置として、「気道異物除去」「心肺蘇生法」「AED」の対応が必要になります。

救急車が来るまで、手をこまねいていると救命のチャンスは大き

く遠ざかることから、応急手当は「勇気」と「やる気」があれば、人の命は助かる可能性が大きいと講師は強調しておりました。

■ けがや病気におそわれた時の対応！

- ① 周囲の状況を確認し、
(安全な場所であることの確認)
- ② 意識があるかどうかを確認し、
(大丈夫ですか？分かりますか？と呼び掛け反応があるか確認する。反応が無い



場合は、気道を確保し呼吸を確認する。⇒正常な呼吸があっても、反応がなければ回復体位に！)

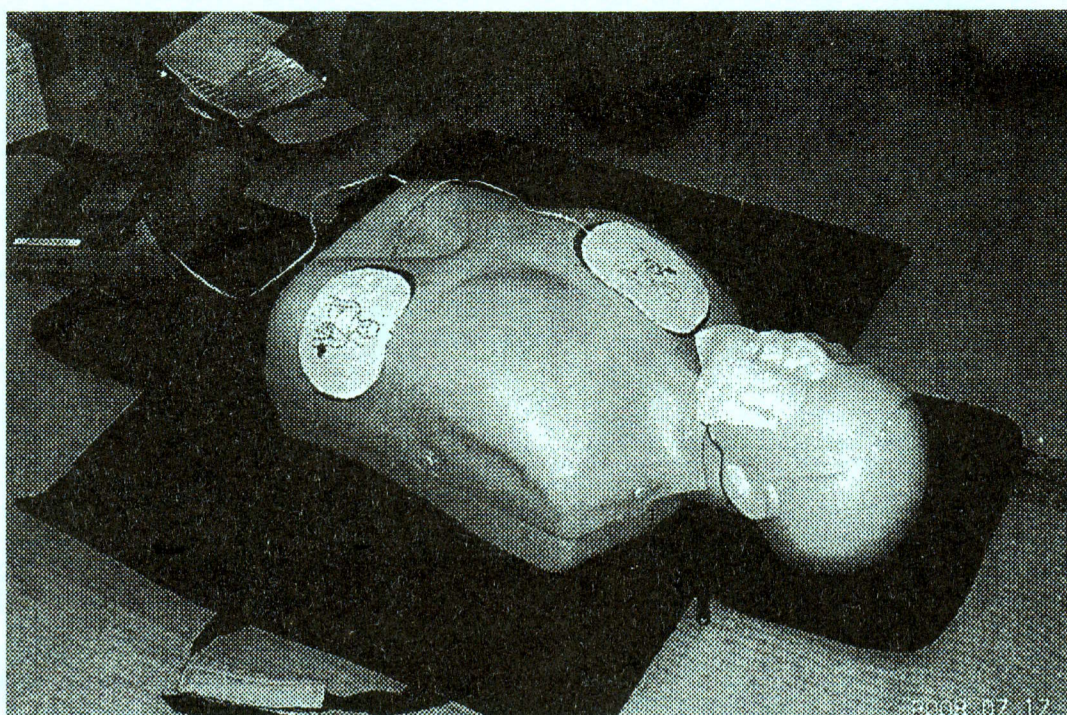
- ③ 反応がなければ、
(誰かを呼んで119番通報(救急車)を、さらにAEDを持ってきてと周辺者に確実に依頼する)

- ④ 気道を確保し、呼吸を確認
(右手であごを上を上げて空気の通り道を確保、「見て」、「聴いて」、「感じて」で10秒以内で正常な呼吸か確認)

- ・見て…目で胸の上がり下がりを見る
- ・聴いて…耳で呼吸の音を聴く
- ・感じて…頬(ほほ)で呼吸を感じる

- ⑤ 呼吸がなければ、2回息を吹き込む
(頭側の手で鼻をつまんで、あご先を上げて、傷病者の口を救助者の口で覆い、「ハー」と吹き込む)

- ⑥ 人工呼吸に続いて、心臓マッサージを行う



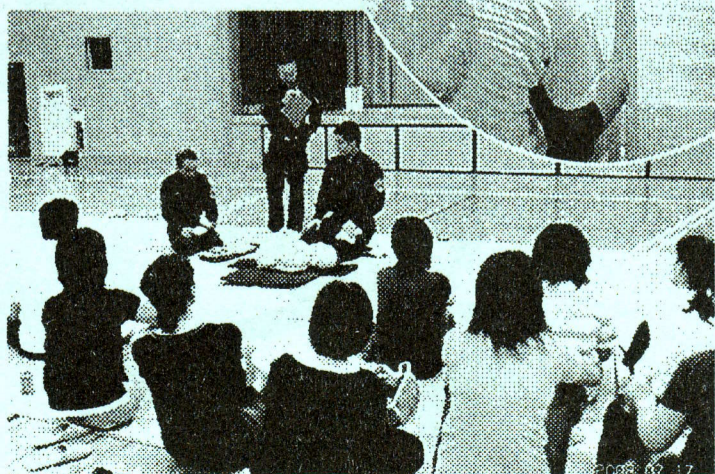
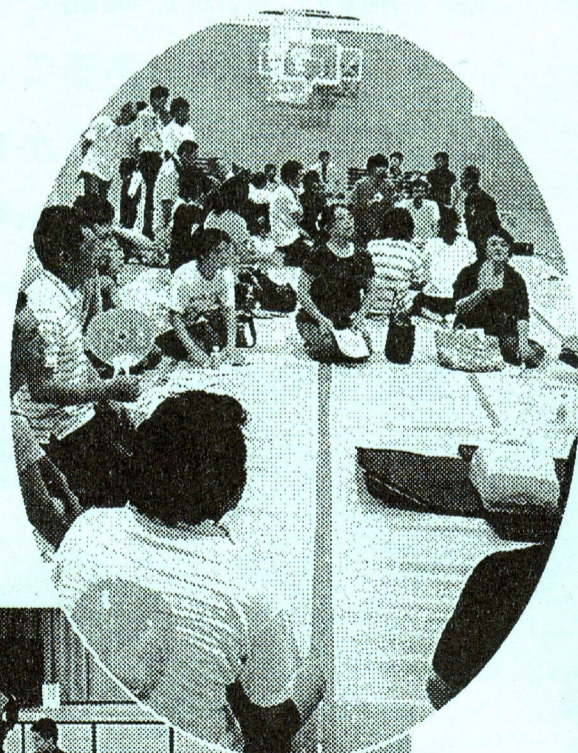
(手のひらを胸の真中におき、もう片方の手を重ねて心臓マッサージ(胸骨圧迫)を連続30回行う)

- ・心臓マッサージと人工呼吸を30:2で、救急隊に引き継ぐまで頑張る

- ⑦ AEDが到着したら、
(電源を入れ、音声メッセージに従いパッドを貼る ⇒ 音声メッセージの指示で通電ボタンを押す! ⇒ 直ちに心臓マッサージを再開する)

なお、インターネット検索サイト上で「新潟市消防局Ver」を入力すると、さらに詳しい内容を知ることができます。又は、下記アドレスからもダウンロードできます。

<http://www.city.niigata.jp/info/shobo/kyukyu/oukyuteate/tekisuto1.3a.pdf>



黒埼地区内のAEDの設置状況

黒埼総合体育館、黒埼市民会館、新潟ふるさと村、スーパーマーケット、黒崎中学校、黒崎南小学校、黒埼地区内小学校
(年次計画で配備)